

今日的な課題に適応プロジェクト

6年 おおたの未来づくり「わたしたちにできること ～こども防災訓練～」

◎授業について

11月27日(水)に第6回となる校内での研究授業を行いました。来年度から始まる「おおたの未来づくり」の先行授業です。「おおたの未来づくり」とは、ゼロから一を生み出す創造力を育てること、地域の多様性を活かすことなどを目標に取り組む大田区独自の教科です。

今回のこども防災訓練は、昨年度、総合的な学習の時間で行った防災訓練に参加していただいた地域の方からの「ぜひ今後も続けてほしい。」という声がありました。学校運営協議会でも、取り組みが話題となり、今回6年生が主となり実施することとなりました。

訓練を計画するにあたり、まず大田区防災危機管理課の方から避難所を運営する際の諸注意を教えてくださいました。また、コンセプトである「HELPをHOPEに」をもとに、使用資材を自分たちで考えて準備したり、避難者の方とどのように関わるのがよいか考えたりしました。

当日の訓練では、5年生や保護者、地域の方約150名の避難者を6年生が対応しました。避難者一人ひとりの状況を把握して、安全に素早く避難所へ誘導することができました。予定していた自分の役割を果たすだけでなく、臨機応変に対応する姿も多く見られ、不安な気持ちで避難してきた人々の立場になって考え行動していました。地域の方からは、「よい取り組みですね。こどもたちが素早く行動していてとても良かったです。しかし、慢心せず改善をしてこれからも続けてほしいです。」という言葉をいただきました。



☆指導・講評

○こどもたちが運営側に回ることは、とても良い経験になったのではないかなと思う。誰かを思いやる気持ちが今まで以上に強く出ていたと思う。

○相手意識があると子どもたちは主体的に取り組める。

○今日の防災訓練は、どの学校でもできる可能性がある素晴らしいものであったと感じた。しかし、優れた学校力・指導力がなければ、決して実践できない。

○今回のコンセプト(HELPをHOPEに)は、とても良かった。しっかりと未来づくりの目的に沿ったものになっていた。

○ICTの活用やペア、グループの活動もただやらせるのではなく、目的や場面に応じてやらせてほしい。

▲統制の取れた行動だったが、実践として積み重ねていくためにもチーム構成や今までの計画を指導案に載せてもよいと思う。